

あたらしい コトバの世界へ

<https://la-kentei.com/>

教養検定会議

(株)教養検定会議 東京都世田谷区松原 5-42-3
内容はサイトでご確認ください
お問い合わせ: sandoyumiko6@gmail.com



リベラルアーツ言語学双書 2

日本語の逸脱文

～枠からはみ出た型破りな文法～

天野 みどり



慣習的な思考枠は誤った思い込みを呼び、自由な心を押さえつける
桎梏にもなりかねません。しかし、パターン化は私たちの日常的な
活動の様々な場面で行われており、重要な貢献をする種類のパター
化ももちろんあります。本書で取り上げるのは、言語の生成や意味
理解に貢献する、人々の慣習で形成された文法規則、中でも「構文」
というパターンです。(はじめに から)

新書の第4弾

3月3日 発売

日本語の逸脱文

ちょっとヘンだけど

わかってしまうのはなぜ?

型があるからよ。
型があるから
型破りも理解
できるの。



ご注文は JRC へ FAX : 03-3294-2177 返条付注文 返品は長期に受け付けます

番線印	冊数	(株)教養検定会議 定価はすべて1,100円(税込み)
		新刊 日本語の逸脱文 一枠からはみ出た型破りな文法— 天野みどり 著 ISBN978-4-910292-05-2 新書判 183ページ 定価1,100円
		日本語のふしぎ発見! 一日常のことばに隠された秘密— 岸本秀樹 著 ISBN978-4-910292-01-4 新書判 250ページ 定価1,100円 (2021年10月刊行)
		じっとしていない語彙 西山國雄 著 ISBN978-4-910292-00-7 新書判 200ページ 定価1,100円 (2021年10月刊行)
		言語学者、外の世界へ羽ばたく 川原繁人 著 ISBN978-4-910292-02-1 新書判 176ページ 定価1,100円 (2022年4月刊行)
6月近刊		自然言語と人工言語のはざままで 一ことばの研究・教育での言語処理技術の利用— 野口大斗 著 ISBN978-4-910292-06-9 新書判 定価1,100円 (2023年6月刊行) コンピュータが言語を生成できる時代にことばとどう付き合うべきか? プログラミング言語(人工言語)とことば(自然言語)のはざままで生きることを余儀なくされたわたしたちが、AIとひとくくりにして言語処理技術をブラックボックスにしないために。ことばの研究者や教員、学生、プログラミングを始めた人に必読の1冊。